

令和5年度 学校評価アンケートのまとめ



令和6年3月 習志野市立谷津南小学校

【評価の実施から教育計画の立案までの流れ】

日 時	項 目	内 容
11月6日(月) 運営委員会	学校評価提案	学校教育評価(添付資料)について提案する。
11月7日(火) ～11月14日(火)	保護者用学校評価アンケートの周知	運営委員会での意見をもとに、教頭が保護者用学校評価アンケートの内容を PTA 本部役員に周知し意見をもらう。
11月27日(月) ～12月8日(金)	職員用アンケート実施 (google フォーム)	運営委員会・職員会議での話し合いをもとに修正した職員用アンケートを全職員にさくら連絡網を通して送信 職員は今年度の実践を振り返り、次年度に向けての案を google フォームで回答
11月27日(月) ～12月8日(金)	児童アンケート実施 (google フォーム)	タブレット端末を使ってこの期間に児童へのアンケート実施。花の木児童は交流級の出席番号で回答する。花の木児童のアンケートの実施場所は交流旧担任と話し合い決める。
12月1日(金)	保護者アンケート送信 (google フォーム)	保護者にアンケートを送信するとともに、手紙を配付する。(添付資料参考)
12月13日(水)	保護者アンケート回答締切	保護者のアンケートの回答確認をする。 確認メール配信(教頭)→集計(教務・副教務)
1月13日(金)	職員・児童・保護者の評価集計	職員アンケート・児童アンケート・保護者アンケートをまとめた資料を職員に配付(教務・副教務)
1月15日(月)～	次年度に向けた教育課程等の検討開始	校務分掌に基づき、各担当者が反省事項に目を通し、改善できるものについて考えておく。必要に応じて、教頭・教務に相談する。
1月15日(月)～	3学期の学校運営協議会委員に向けたアンケートの考察及び、文書作成	文書作成が終わり次第、学校運営協議会委員にさくら連絡網で周知する。
2月16日(金)	学校運営協議会	職員・児童・保護者のアンケートについて説明し、学校運営協議会委員から意見をいただく。
3月中～下旬	学校評価アンケートのまとめ	教育課程検討会や学校運営協議会での意見をもとに学校評価アンケートをまとめ、ホームページに掲載し、さくら連絡網で周知する。

【学校関係者評価委員】(敬称略)

役職名	氏名
学校運営協議会会長	山本 真紀
学校運営協議会委員 地域学校協働活動推進委員	宇野 圭子
学校運営協議会委員 PTA 会長	横井正文
学校運営協議会委員	種田 祝次
学校運営協議会委員	藤田 勉
学校運営協議会委員	辻 幸夫
学校運営協議会委員 学校体育施設開放管理指導員代表	田村 信二
谷津南小学校後援会会長	池 美恵子
谷津公民館学習圏会議会長	青木 淳子
PTA 副会長	堀越 彩子 渡辺 直美 林 輝雄

評価のまとめ

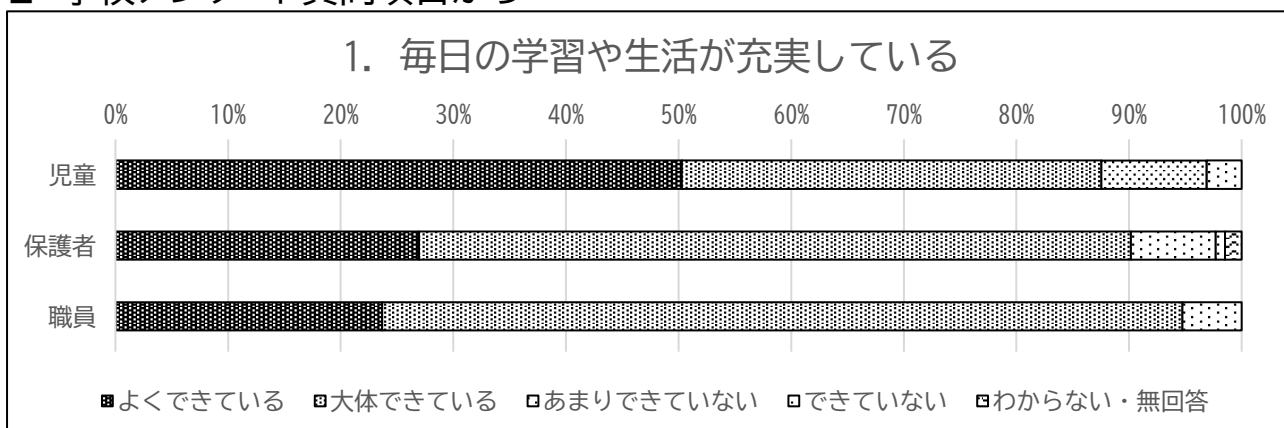
(※意見等は個人情報に係る部分を削除し、要約や抜粋しています。)

保護者意見 … 保 職員意見 … 職 学校関係者評価委員意見 … 評 考察 … 考

1 全体としての傾向

- ・「よくできている」という肯定的評価の割合が高いのが児童、次に保護者、次に教員という傾向が見られ、これは例年同様の傾向となっています。
- ・職員は「よくできている」の評価を選ぶ割合が他者の評価と比較して低く、多くの保護者の大らかさとは逆に、十分に満足はできないという自らの反省を踏まえ、見方に厳しさがあるものと捉えられます。
- ・児童は「よくできている」という一番よい評価の割合が高い一方、「あまりできていない」「できていない」といった否定的評価の割合も、保護者や職員と比較して多くなっています。全国的な傾向である自分に自信がもてない児童が一定数存在する傾向が本校でも表れているものと思われます。

2 学校アンケート質問項目から



保 行事や学習活動に先生方が一生懸命子供たちに関わっていただき大変感謝しています。子供たちも、のびのびと学校生活を送れています。

保 いつも本当にありがとうございます。感謝しております。

保 いつも子供は楽しそうに登校しています。

保 子供たちは学校生活に満足そうです。

保 いつも温かい御指導をありがとうございます。学校では楽しく過ごせているようで、先生方には御礼申し上げます。

保 いつも楽しく通っております。先生方の御尽力に感謝いたします。

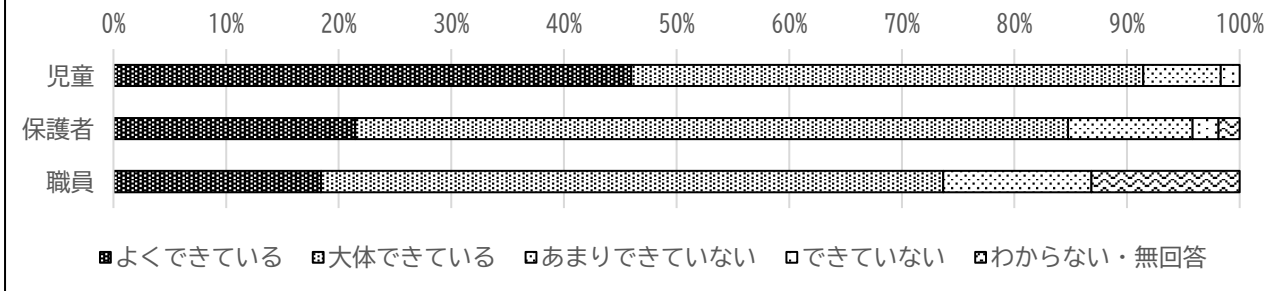
保 いつも楽しく登校しています。先生のいろいろな話が面白くて、家でも話してくれます。また、程よく保護者が参加、見学ができる行事が設けられていてとても楽しみです。

保 子供がこんなにも成長できたのは、先生方のおかげです。感謝しております。

保 音楽部の活動が楽しいようです。いつも御指導ありがとうございます。

考 昨年 5 月から感染症対策が緩和され、行事等についてできる限りの方法をその都度考え、何度も会議を行いよりよい方法を考えてきました。児童増加も視野に入れながら、行事の精選及びその内容を今後も検討してまいります。

2. 学習面において基礎・基本の定着が図られている

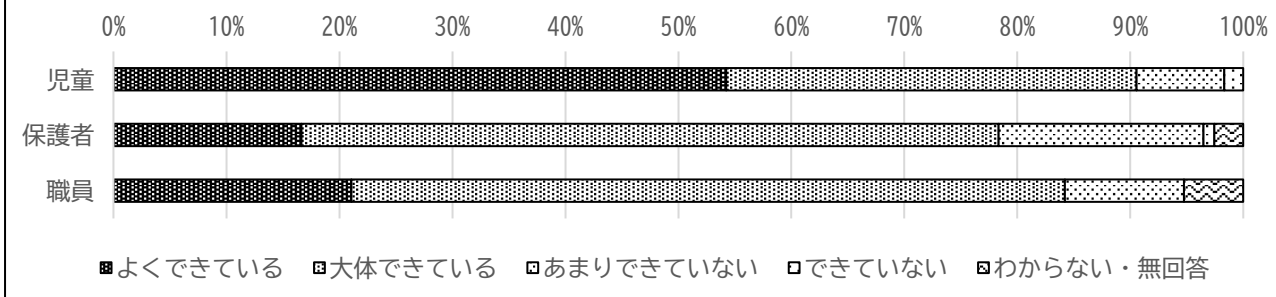


保 子供は学習塾に通っておらず、日々の学校の学習のみで勉強しております。昔に比べたら宿題量が減ったのか、特に漢字の学びの定着ができていないように思います。外部の学習塾に通えば賄えるのかもしれませんが、それはどうかと感じています。宿題が多すぎるという意見もあるかもしれませんが、個人的には少なすぎるのではと思っています。

保 近隣の学校と比べて授業の進みが遅く、毎年、年度終盤になると、もの凄いスピードで授業が「こなされている」ため、学力の定着がしづらい事が心配です。

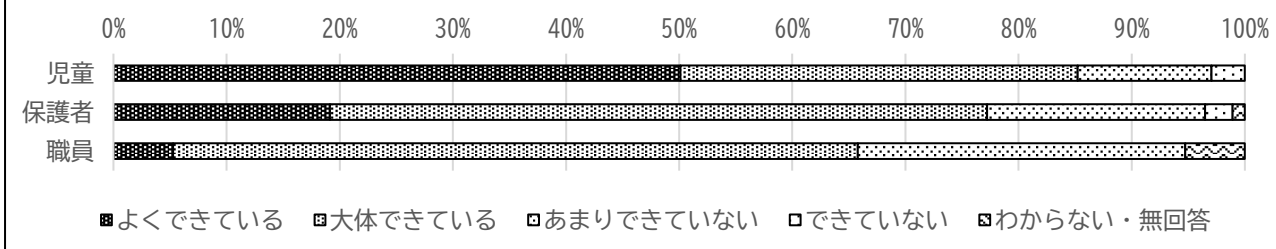
考 宿題については、学級によって児童の実態が異なるためすべて同じにすることは難しいですが、学年会などで宿題の量や内容については話し合いをし、あまりにも差が出ないように留意してまいります。また、1月中旬に行った学力テストを集計・分析したうえで、本校の課題を見極め手立てを講じ、計画的に学習ができるよう準備してまいります。

3. 「聴く」力が身につけてきている



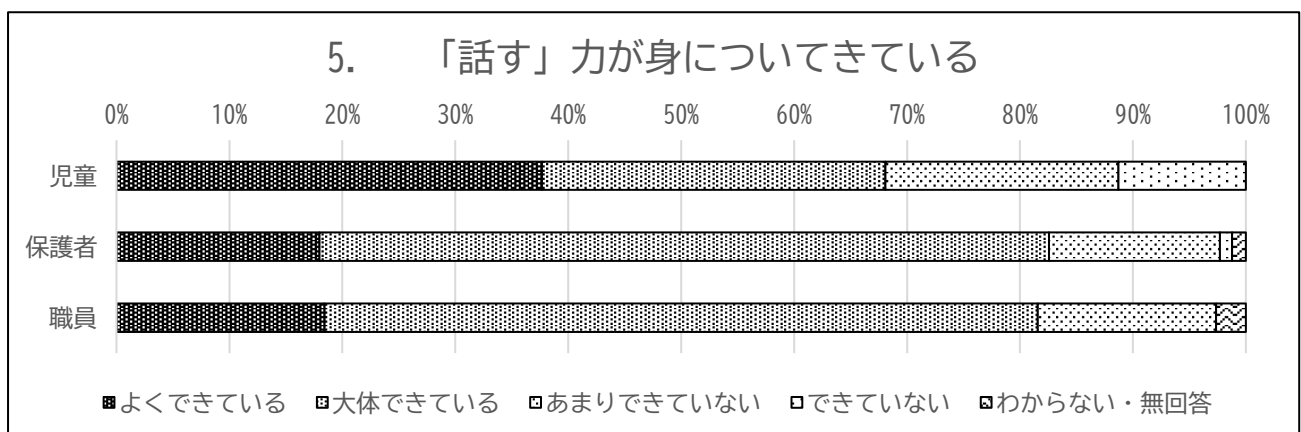
考 日頃の授業や朝・帰りの会など、教育活動全体を通して、最後まで話を聴くことは非常に重要なことだと捉えております。ア教職員は児童が「聴いている」と感じていても、児童はそうとは限らないことを念頭に入れ、聴くことの価値や意味を児童に引き続き伝えてまいります。

4. 「書く」力が身につけてきている

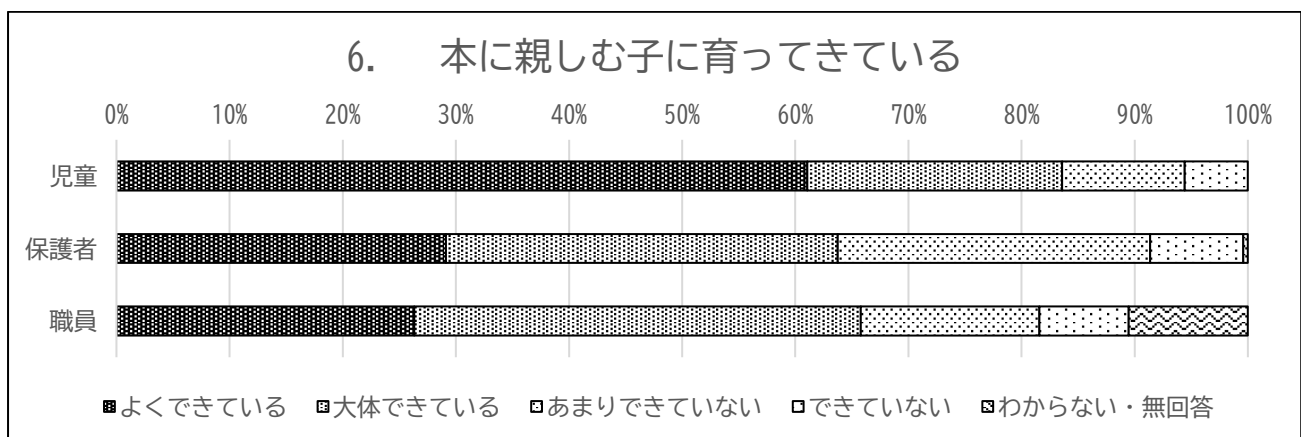


保作文が苦手なのか文章を書くとき助詞の使い方など文脈にあわず、しかも字が汚いのでこれは学年相当の学力に足りていないのではと心配しています。読み返す作業もいやがります。学校ではどのように作文の指導をいただいているのでしょうか。

考第6学年が令和5年4月に行った全国学力・学習状況調査における本校の結果を分析すると、「書く力」に課題があることがわかっているため、引き続き授業や家庭学習の中で書く時間を確保してまいります。また、書く力については、個人差が大きく、児童により課題が異なることが多いため、一斉指導だけでなく児童一人一人の困り感を把握したうえで個別指導を心掛けてまいります。



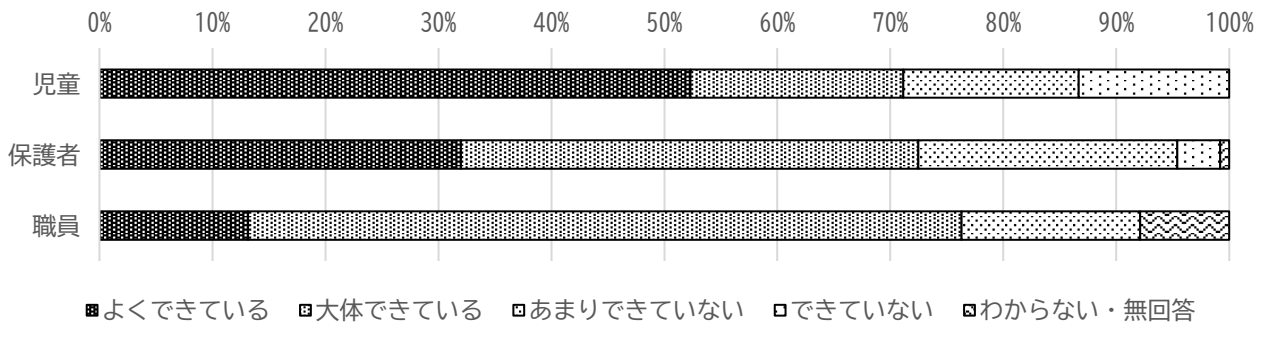
考感染症対策が緩和され、話し合いの場を設定することができるようになりました。今後も積極的にグループ活動や児童同士で話し合う機会を設けてまいります。



保家庭からではわかりませんが、読書の時間が少ないように感じました。

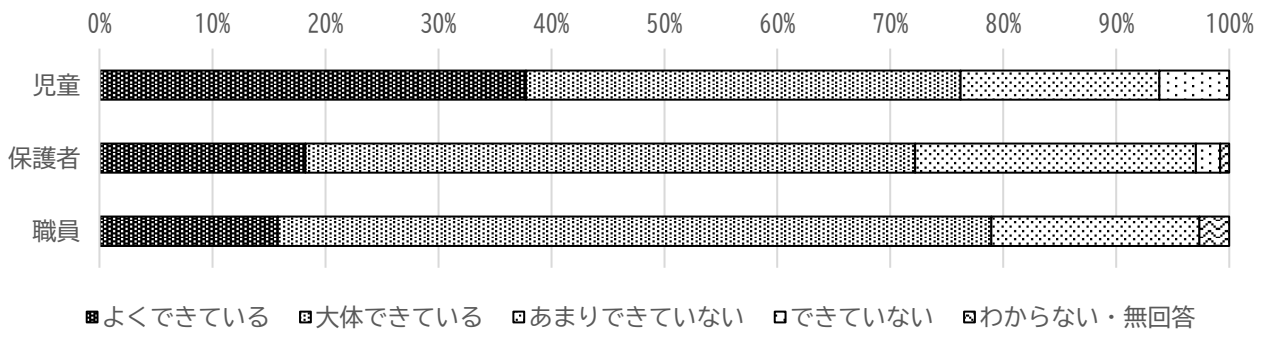
考2～6年生については、毎朝「読書タイム」を設けております。また、週1時間、図書室を使用できるように設定し、読書活動の推進を図っているところです。引き続き図書委員会を中心に読書の面白さや楽しさを伝えるための活動を行うとともに、お話ポケットによるお話会を学期ごとに全クラスで実施していきます。また、習志野市学校電子図書館「ナラシド♪ライブラリー」のさらなる周知と家庭や学校での活用を促進してまいります。

7. すすんで運動に親しむ子に育ってきている



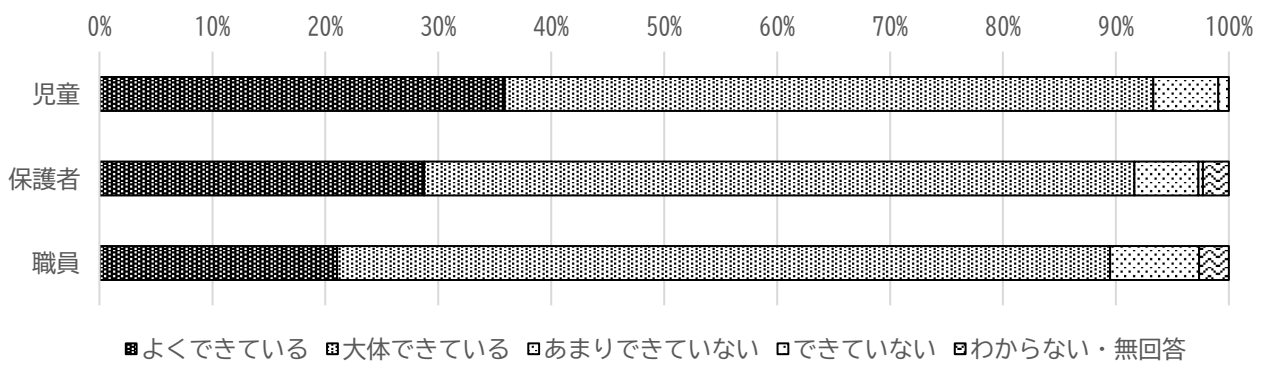
考体育や外遊びでの身体接触等の制限が解除され、教職員も児童も従来の体育や外遊びができるようになりました。安全に十分配慮したうえで、まずは児童の体力がコロナ以前の水準に戻るよう、計画的に指導してまいります。

8. すすんであいさつや手伝いができる子に育ってきている



考教職員の中では特に「挨拶」について個人差が大きいことが課題として挙がっております。次年度は、年間の生活目標を「気持ちのよい挨拶や返事」に絞り、わかりやすい合い言葉や標語を作り児童に伝えていこうと考えております。引き続き、児童による委員会活動や PTA、地域の団体の皆様と連携して挨拶の大切さを教えていきたい。

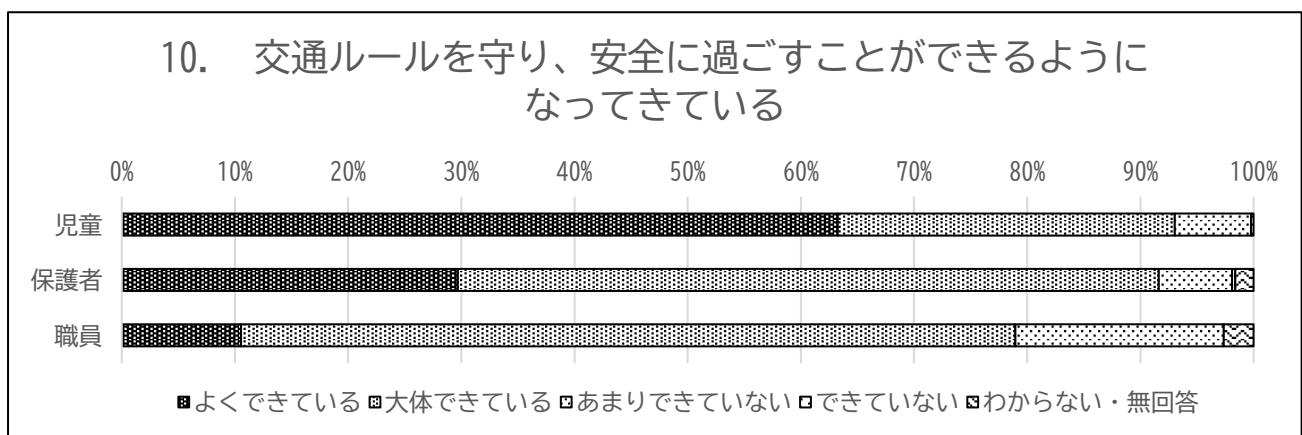
9. 思いやりのある子に育ってきている



評異学年交流はとても大切なことなので、全校遠足等、学校の実態に合わせた取り組みの工夫を引き続きお願いしたい。

評学力も大切だが、自然の尊さや美しさに目を向けられるような情操教育も同時に行ってほしい。

考異学年交流については、コミュニケーション能力や思いやりの心を育てるうえでとても大切であると捉えております。本校の実態や他教科とのバランスを考慮しながら、引き続き検討を重ね実施できるものを決めてまいります。また、他者の気持ちを考えることや自然の美しさや尊さを教えることは、心の醸成につながるものにとらえております。これからも道德の時間だけでなく、教育活動全体を通して人間力を育ててまいります。

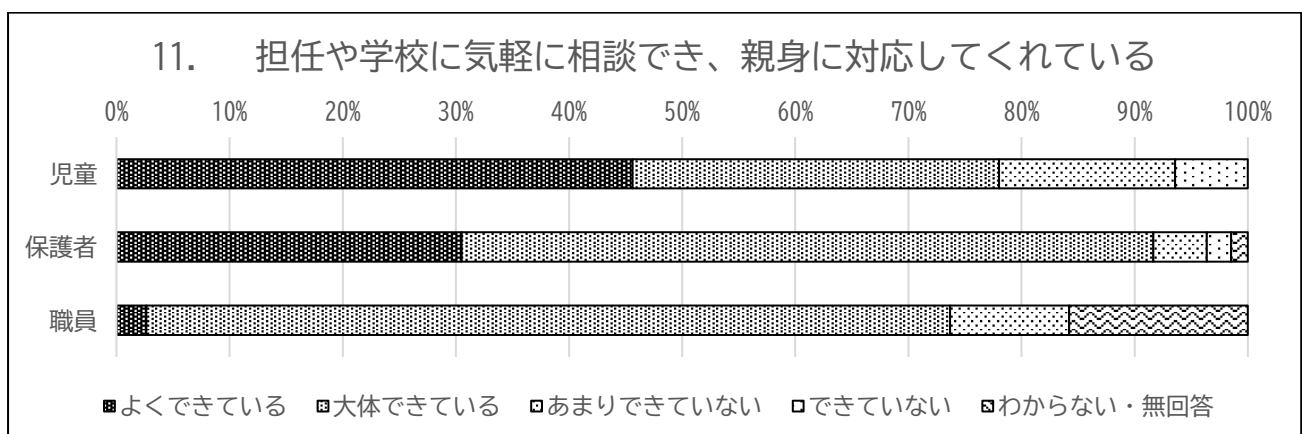


評バスのマナーについては、児童たちに考えさせながら標語等にしてわかりやすく伝えるのはどうか。

評バス通学の問題点や市教育委員会の今後の見解等を保護者にしっかりと周知したほうがよい。

評バス通学については、社会性を身に付けさせる上でよい機会ととらえることも非常に大切な視点である。

考バスのマナーについては、児童が主体となり考える機会を設けていきます。「しゃべってはいけない」という一律的な指導ではなく、一緒に乗車している方の気持ちを考えさせるなど、発達段階に合わせて子供たちに分かりやすく伝えていきたいと考えております。また、バスのマナーや安全についての学校の取組も学校だより等を通じて周知し、バスの乗り方教室や交通安全教室等については、保護者にも公開しその趣旨を御理解いただいたうえで御協力を得られるような行事としていきたいと考えております。



保 子供の特性に配慮して御指導いただき大変ありがたく思っています。

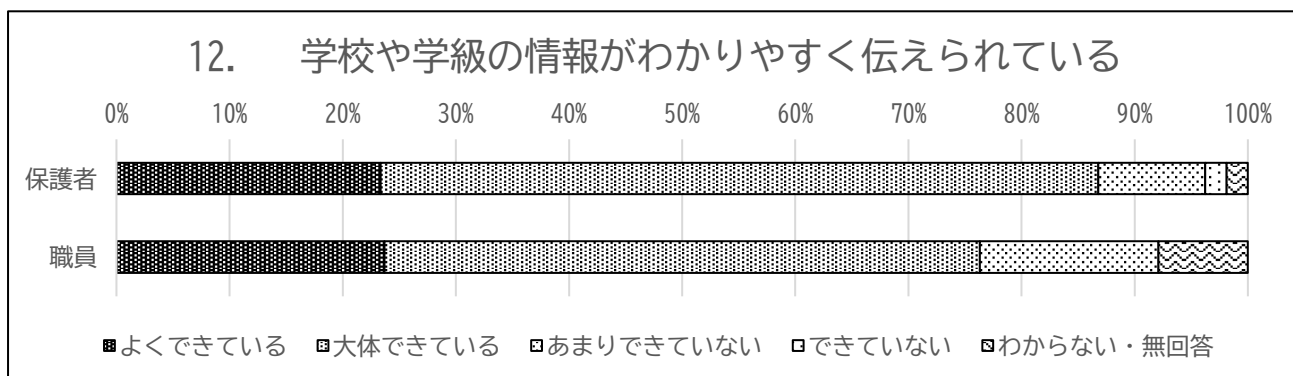
保 日々お忙しい中、子供たちの為に色々と考えていただきありがとうございます。

保 子供の発達段階に応じた心ある言葉遣いをしていただけるとありがたいです。何卒よろしくお願いいたします。

保 リモートの授業を聞いていたことがありましたが、児童に詰め寄るように問うていた場面があり驚きました。今後も少し不安です。

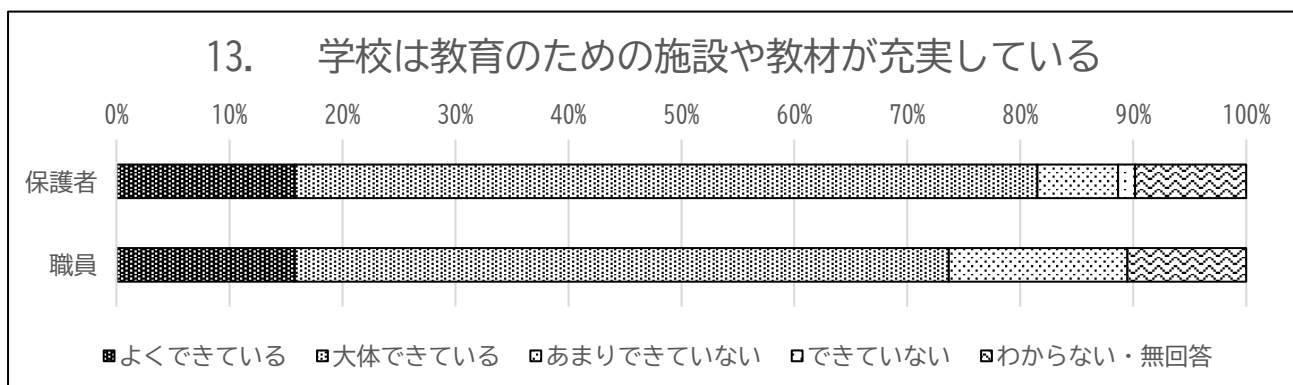
評 子供一人ひとりの悩みや相談を受け取る時間と場所を今後も大切にしてほしい。

考 教員の言葉遣いや態度、指導の仕方を児童はよく見ていることを再認識し、児童が気軽に相談できるような言動を常に心掛けてまいります。また、来年度も担任やスクールカウンセラー、教育相談担当者だけでなく、学校にいる職員誰でも相談してよいことを4月の「SOS の出し方教育」で児童に伝えていきます。また、教職員が意図的に児童の話を聞けるような時間を作れるよう検討していきたい。

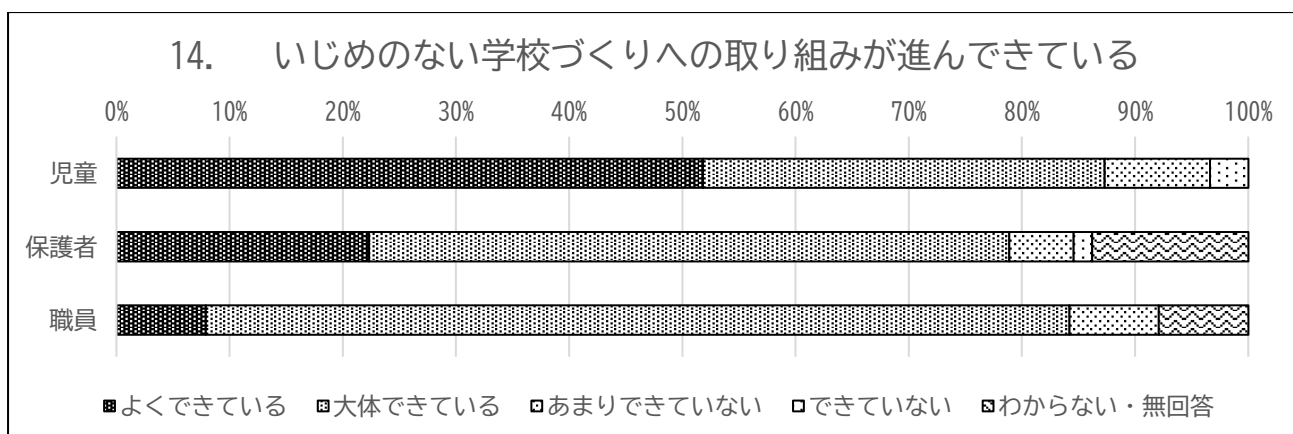


保 さくら連絡網もきめ細やかに配信していただき、学校の様子がよく伝わります。ただ、緊急でなければ、夜遅くや休日の配信はなくても良いのではないかと思います。

考 今年度から学校ホームページを一新し、日頃の児童の様子について写真を付けて紹介したり、PTA 本部役員と連携し PTA からのお知らせもわかりやすく掲出したりすることができました。今後も、さくら連絡等の配信システムを活用し、ペーパーレス化を推進するとともに緊急時以外の配信は平日の日中となるよう配慮してまいります。



考 今年度は音楽棟、2階西校舎の大規模改修工事が行われ内装、外装の改修と特別教室を含めすべての教室にエアコンが設置されました。来年度は、体育館の大規模改修工事が行われます。詳細がわかり次第、学校だより等で伝えてまいります。



保 クラスメイトとのトラブル時、担任の先生が迅速に対応してくださり、不登校になる危険性を回避できました。学年主任の先生とも連携して問題解決に動いてくださり、また子供の気持ちに寄り添っていただいたこと、心より感謝しております。どうもありがとうございました。

保 どうやったら不登校児を減らすことができるのか、PTA に協力出来ることは何かないか、どうしたら子供たちは楽しく学校に行ってくれるのだろうか等、一緒になって考えていきたい項目です。

評 毎日の生徒指導報告の共有は大変ありがたいので、教員の負担になる部分ではあるがぜひ継続してもらいたい。

考 毎日の生徒指導報告や子供一人一人と向き合い話を聞く時間を次年度も引き続き確保し、悩みや不安な出来事があったら早期解決ができるよう今後も学年・学校体制で取り組んでまいります。

3 行事、カリキュラム、時程関連

保 どひゃっとランニング記録会では、時間内でどれだけ自分が走ることができたか、という形で開催されましたが、児童一人一人が達成感を感じられる趣旨に感動しました。

保 順位がつくことで子供のやる気もアップするため、マラソン大会を従来のスタイルに戻して欲しいです。

今年は 5、6 年生のみがマラソン大会が開催されたと聞きました。娘もマラソン大会があると年間行事にありましたので、練習につとめてきました。部活動や作文やポスターは選ばれ表彰されるのに、なぜ持久走は順位を決めることを辞められたのでしょうか。そこで輝く子もいると思います。これから競争社会に出ていくのに、自己との戦いだけでは張り合いもなく、成長の仕方も変わると思います。校庭の外を出るのが危ないのであれば、今年のようにトラックを走るのも良いのではないのでしょうか？出過ぎたことを言うようで申し訳ないのですが、子どもたちが輝ける場を増やしてほしいと思い、意見としてあげさせていただきました。

保 今年ほどどひゃっとランニングとマラソン大会があり負担だなと思いました。走るのが得意な児童は楽しみだと思うのですが走るのが苦手な児童は二回嫌な思いをしてしまうのではないかと思います。同じような行事は一度でいいと思います。

保 今年度、どひゃっとマラソンと通常マラソン大会の計 2 回行いましたが、1 回で十分です。通常マラソン大会のみ実施すればよいかと思います。子供が心身共にかなり負担そうでした。

保 来年は記録会ではなく外周を走るマラソン大会を開催してほしいです。

保 5、6年生はどひゃっとランニングの他にマラソン大会を開催したとお聞きしました。いろいろな事情はあると思いますが、全学年行ってほしかったです。また5、6年だけが行った経緯などを全学年に連絡していないのもおかしいと思います。

保 急遽マラソン大会を5、6年生のみ行ったことについては、下級生の中に残念という声が多く聞かれました。また、日頃から体力作りに励んでいる児童達にとっては、今回の在り方は少々残念に思います。

保 応援団が復活し、赤白それぞれ生徒達が一丸となって取り組む姿が見られ、感動しました。また児童達が涼む場所を作って下さり、大変助かりました。一方で涼む場所が赤組側にあったため、白組の生徒達が行きにくかったこと、そのため結果的に赤組の生徒の離席率が高く、応援合戦においては少々不利だったのかなと感じました。オールハッピーは容易では無いのは承知しておりますが、そのように感じたので記述致しました。

保 マラソン行事については、様々な保護者の意見があると思うが、事前に保護者や児童にしっかりと説明したうえで二転三転しないよう運営してほしい。

考 マラソン行事については、身体的距離に制限のない体育の授業や外遊びができるようになり児童の基礎体力がついてきていること、5・6年生による学年マラソン大会を実施した結果本校敷地内でも安全に大会が運営できる目途が立ったことから、次年度は全学年本校敷地内でマラソン大会を行う方向で考えています。また、マラソン大会に向けた体育での持久走は、各学年で時間を決めその中でどれだけ遠くまで走ることができるかを目標に取り組んでいきます。このことについては、学校だより等でも周知し保護者からの御意見を聞きながら調整してまいります。

保 運動会を親ももっと楽しめる様に工夫して欲しいです。リレーなどの種目で、グラウンドの内側にも観客を入れて観られるようにできたら楽しそうです。また、ただ座って待っている子供たちが暑くて可哀想そうに見えました。

保 コロナで楽しい学校行事をあまり経験しないまま小学校の半分以上が過ぎてしまった。徐々に回復はしているようだが、まだ本来の姿には戻っていない。みんなで玉入れや大玉転がしなど運動会ならではの種目を取り入れた運動会や、お祭りなど、楽しい行事が増えることを期待します。

保 運動会など、気温の上昇と直射日光で熱中症が心配に思ったので、次のプログラムの待機場所にはテントを張るなど、日除けがあるといいと思いました。

考 暑さに対する児童の負担を少しでも軽減するため、次年度の運動会は10月中旬を予定しております。今のところ児童にとってより達成感のある競技内容を再検討し、お弁当を食べた後、時差を付けながら下校する形を考えております。

4 タブレット端末・ICT 関連

保 ランドセルの重さが健康面において(肩や姿勢への負担)心配です。タブレットのキーボードを取り外すということで対応して頂いていることは有り難いですが、タブレットを使わない日は学校に保管できる場所があればと思います。

保 タブレットが重すぎます。タブレット端末がよく固まり刷新を願いたい。

保 毎日荷物が重くかわいそうです。教科書ノートの持ち帰りに加えタブレットがあるとどうしても重た

なくなってしまう。運用ルールについて早期に改善していただきたく思います。

保タブレットが重く毎日の登校で子供の体に負荷がかかっています。充電は毎日必要がないため毎日の持ち帰りは無しとしてもらえないでしょうか。低学年は特に体力が足りておらず、週末の荷物が多い時は持ち帰り無しとするか、タブレットを持ち帰るのであれば宿題以外の教科書類の持ち帰りは無しとしていただくと大変有難いです。ご検討をお願いいたします。

保タブレットを毎日持ち歩くことを見直して欲しいです。週始めに満充電で持っていけば数日使用できると思います。週末に持ち帰るのではいけませんか？家庭でタブレットを使用することはあまりなかったなので、その運用で問題なく感じます。

保タブレットが重たすぎますし、故障の心配もあります。いくら教科書を学校に置いておけると言っても、宿題があるので持ち帰りが必要です。毎日持ち歩くのであれば、もっとタブレットを活用してください。

保可能でしたら、タブレットを使用する前日に連絡帳等でお知らせ頂けると助かります。

保タブレットの持ち帰りが重そうだなと思ったので、学校に充電のできる保管庫があるといいなと思いました。

保学校組織は、ICT化が非常に遅れているように感じます。雑務だけでなく授業やテストなどにも積極的にICTを活用して、先生方の負担を減らしてほしいです。先生たちの精神安定が子供達の教育にもプラスになると思います。

考タブレット端末を毎日持ち帰る代わりに、極力教科書やノートの持ち帰りを減らして対応しているところです。教室毎にクラス人数分の端末を一度に充電する機材が配当されていないため、引き続き御家庭での充電をお願いいたします。今年度は、負担軽減のためタブレット端末のキーボード部分については学校置きとしてもよいことを伝えました。また、児童の負担軽減のためランドセルにこだわらず、両肩から背負えるものであれば軽量の通学カバンでもよいことを周知させていただきました。次年度に向けて、体操服や上靴など持ち帰るものが多い金曜日は教科書やノート類は持ち帰らない等、さらなる負担軽減に向けて検討しております。また、AIドリルの導入やタブレットでの音読などタブレット端末を持ち帰ることに意味があるものとなるよう吟味してまいります。

5 感染症対策関連

保学級閉鎖の連絡の際、せめて該当クラスと理由が知りたいです。

保今年度学級閉鎖が当日急に決まり翌日から登校禁止になってしまい共働きの為、対応に非常に苦慮しました。ガイドラインに則っているのかとは思いますが、共働きの家庭が増えている中30人以上のクラスにおいて欠席者が一桁で学級閉鎖にする必要があるのか、登校またはオンラインかをそれぞれ個人の選択制にするなど他の対処法も考えて頂けたら有難いです。

保学級閉鎖になった時、何人の子供が何の病気で休んでいるのか教えて欲しいです。何が流行っていて気をつけるべきなのか知りたいです。また、どういう状況になったら学級閉鎖、学年閉鎖になるのか教えて欲しいです。

保学級、学年閉鎖が相次いでおり、現在行って頂いている感染対策では対応が困難な状況と考えます。強制はせず、推奨という形でもマスクの着用を促すことも視野に入る段階だと思えます。ニュースにも

なっており、ご存知とは存じますが他市では行っている学校もあります。子どもたちの教育機会、時間確保のため、今一度感染対策についてご検討頂けないでしょうか。

【考】どの病気が現在学校で流行っているか周知することでその病気への対策ができることは十分理解しておりますが、同時に感染症に罹患した児童への配慮も必要であるため、市教育委員会とも連携しどのような周知の仕方がよいか再検討してまいります。今年度、校外学習や宿泊を伴う行事の当日に、感染症に罹患した児童が急激に増えてしまい延期せざるを得ない状況となった学年がありました。このようなことが今後起こらないように、教職員と保護者、児童が連携し健康管理に努めるとともに、風邪症状等がある場合は、土日であってもすぐにさくら連絡網や学校携帯で知らせていただく等、できるだけ事前に学校が情報を収集し、実施できるかどうかの判断が少しでも早くできるような体制を構築していきます。

6 その他

【保】学校への車での送迎についてですが、バス登校の児童が多いため、登校時、下校時共に、うさぎ小屋横バス停近くの出入り口を通るのは大変危険に感じてしまいます。バス待ちの列が途絶えたと思っても低学年の児童が走ってきたりすることもあり、危険な場面を目にしました。正門付近への停車は短時間でも近隣の方に御迷惑を掛けることは承知しており、心苦しく感じています。正門から入らせていただき、昇降口手前辺りでの乗り降りは可能でしょうか。

【考】登下校中の車の送迎については、本校正門入口の左右に駐車できるスペースを設けましたのでそちらを御利用ください。

【保】面談をリモートやオンラインで対応できないでしょうか。

【考】保護者面談については、原則直接お会いし対話をしながら、お子さまの成長のために連携する貴重な機会と捉えております。一方、仕事等の都合上どうしても日程調整がつかない場合は、リモートやオンライン等で対応できないか検討を重ねてまいります。

7 終わりに

今年度も、学校関係者の方と直接話し合っただけで議論を展開することができ、貴重な意見をいただくことができたことを感謝しております。学校職員はテーマごとのブロック会で検討を重ね、次年度の方角性を決めることができました。

今年度も多くの意見があったタブレット端末の御意見については、大変重く受け止めております。今後も習志野市教育委員会と連携を取り、子供たちにとって使いやすいものとなるよう検討を進めてまいります。

本年度の学校教育を支えて下さった保護者、地域、関係各位の方々に感謝し、次年度も子供たちの成長を支えられる学校でありたいと決意を新たにしております。引き続きの御支援、御鞭撻くださいますようお願いいたします。